

全体		大阪工業大学は、工学、情報科学、知的財産の各分野における専門的かつ実践的な教育を実施するために、各分野で必要となる論理的思考力や基礎学力を入学者に求めています。入試種別ごとに設定したポリシーは以下のとおりです。
入試種別		アドミッション・ポリシー
総合型選抜	AO入試(学部学科特色型)	高等学校等在籍時の多様な活動や経験を通して身に付けた能力や豊かな人間性などに加え、志望する学部・学科の学問領域において、特筆すべき自作作品や活動等の実績または成果について、積極的かつ多面的に評価する入試制度です。1次選考では面接および書類審査を課し、様々な活動や経験を通してどのような能力を身に付けてきたか、人間的な成長を遂げたかを評価します。2次選考では書類選考を課し、本学で学ぶ意思と入学後のビジョンなどを評価します。面接は各学科のアドミッション・ポリシーに則った方法で実施します。
	AO入試(課外活動評価型)	出身学校在籍時の学術・文化・芸術・スポーツ等の課外活動に積極的・継続的に取り組み、その活動や経験を通して身に付けた能力や豊かな人間性などを積極的かつ多面的に評価する入試制度です。1次選考では面接および書類審査を課し、様々な活動や経験を通してどのような能力を身に付けてきたか、人間的な成長を遂げたかを評価します。2次選考では書類選考を課し、本学で学ぶ意思と入学後のビジョンなどを評価します。面接は各学科のアドミッション・ポリシーに則った方法で実施します。
学校推薦型選抜	普通科高校特別推薦入試	高等学校等在籍時に普通科教育を中心としたカリキュラムを受講した生徒を対象とします。素養を問う簡単な学力検査および小論文を課し、工学部、ロボティクス&デザイン工学部ならびに情報科学部は、数学および英語の素養や入学後の学びで必要となる基礎学力などを、知的財産学部は英語の素養や入学後の学びで必要となる基礎学力、知識に加え、思考力・判断力・表現力などを総合的に評価します。面接では、本学で学ぶ意思や入学後のビジョンなどを問います。英語、数学の出題は高校教科書の基本的な内容とし、小論文は高等学校等卒業見込み者が持ちうる学力や知識の範囲内で記述できる内容としています。また一定レベル以上の英語等の検定資格保持者に対し、資格・検定試験に取り組んだ主体性も評価します。
	専門高校特別推薦入試	高等学校等在籍時に工業、商業、情報などに関する専門教育を受けた生徒を対象とします。素養を問う簡単な学力検査および小論文を課し、工学部、ロボティクス&デザイン工学部ならびに情報科学部は、数学および英語の素養や入学後の学びで必要となる基礎学力などを、知的財産学部は英語の素養や入学後の学びで必要となる基礎学力、知識に加え、思考力・判断力・表現力などを総合的に評価します。面接では、本学で学ぶ意思や入学後のビジョンなどを問います。英語、数学の出題は高校教科書の基本的な内容とし、小論文は高等学校等卒業見込み者が持ちうる学力や知識の範囲内で記述できる内容としています。また一定レベル以上の英語等の検定資格保持者に対し、資格・検定試験に取り組んだ主体性も評価します。
	女子特別推薦入試	「専門職業人の育成」という建学の精神に基づき、社会の動向や時代の要請に応じた多様な人材の育成に努める中で、授業や課外活動で顕著な成績を残す女子学生や、卒業後も各界において卓越した実力を発揮している女性も少なくありません。女性人材の登用を求める日本や世界の声を引くまでもなく、組織や社会の活性化に向けて女性の能力や視点が不可欠であることは、本学の実体験であり、本学では女子学生人材の育成強化とその先にある社会全体の多様性向上を目的に本入試を実施します。 工学部建築学科を除く学科では、高等学校等在籍時に普通科教育を中心としたカリキュラムを受講した女子生徒を対象とします。工学部建築学科は普通科に加え、工業科、総合学科等の高校に在籍する女子生徒を対象とします。工学部電子情報システム工学科は普通科に加え、工業に関する専門教育を受けた高等専門学校に在籍する女子生徒も対象とします。素養を問う簡単な学力検査を課し、数学および英語の素養や入学後の学びで必要となる基礎学力、知識に加え、思考力・判断力・表現力などを総合的に評価します。英語、数学の出題は高校教科書の基本的な内容とし、小論文は高等学校等卒業見込み者が持ちうる学力や知識の範囲内で記述できる内容としています。書類審査は各学科が指定する課題を課し、思考力・判断力・表現力などを評価します。面接では、本学で学ぶ意思や入学後のビジョンなどを問います。また一定レベル以上の英語等の検定資格保持者に対し、資格・検定試験に取り組んだ主体性も評価します。
	公募制推薦入試	数学、外国語、国語、情報のうち2教科を課しています。いずれの出題も素養を問う簡単な学力検査とし、高校教科書の内容の正確な理解を求めます。また、数学、国語の一部問題については記述式を採用し、単なる知識として問うだけではなく、思考力、表現力も評価します。また一定レベル以上の英語の検定資格保持者に対し、資格・検定試験に取り組んだ主体性も踏まえ、総合的に評価します。さらに、一部の入試方式においては、高等学校における学習成績の状況を含めた評価を行います。
一般選抜	一般入試	数学、外国語、国語、理科または情報のうち3教科(または2教科)を課しています。いずれも高校教科書の内容の正確な理解に加え、それを応用できる能力を求めます。数学、物理、化学と国語の一部問題については記述式を採用し、単なる知識として問うだけではなく、思考力や表現力も評価します。 大学入学共通テスト利用型においては、幅広い視野と知識を身につけた入学者を求める観点から、理系型では数学、文理型および文系型では外国語や国語に重きを置きつつ、理系・文系にかかわらず広く科目を設定しています。また、大学入学共通テスト利用型のうち後期C日程では、「外部英語検定試験」を活用したみなし得点制度を導入し、学力の3要素を踏まえた多面的・総合的な評価を実施します。
その他の選抜	社会人入試	一定期間以上の社会人経験を有する入学希望者を対象とした入試制度で、「多面的評価入試」の一環として行っています。書類審査および面接では、本学で学ぶ意思や入学後のビジョンなどを問うとともに、社会人経験で培った人間性、入学後の学びで必要となる基礎学力などを総合的に評価します。
	帰国生徒入試	帰国生徒の海外での経験を積極的に評価する「多面的評価入試」の一環として行っています。面接では、海外での経験を通じて身に付けた多様性や協働性、主体性のほか、本学で学ぶ意思や入学後のビジョン、入学後の学びで必要となる基礎学力などを総合的に評価します。
	外国人留学生入試	海外での異なる文化や環境で生まれ育ち、日本語による授業が理解できる能力を有する入学希望者を対象とした入試制度で、「多面的評価入試」の一環として行っています。1次選考では、出身学校成績等に加え、日本留学試験(EJU)の成績を用いて、入学後の学びに必要な基礎学力などを評価します。2次選考では、日本語による面接を実施し、本学で学ぶ意思や入学後のビジョンなどを問うとともに、日本語能力、基礎学力および志望理由などを総合的に評価します。
	編入学試験	本学が定める一定基準以上の学業を収めた編入学希望者および日本の大学を卒業または日本の大学に在籍し、学士の称号を有する(いずれも見込者を含む)編入学希望者を対象とした入試制度で、「多面的評価入試」の一環として行っています。工学部、ロボティクス&デザイン工学部ならびに情報科学部は英語、数学、理科の3教科、知的財産学部は英語および論文を課します。いずれの出題も大学2年次生程度の基礎学力や知識とそれらを応用できる能力を評価します。面接では、本学で学ぶ意思や編入学後のビジョンなどを問うとともに、編入学後の学びで必要となる基礎学力などを総合的に評価します。